

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

<研究課題名> 肝胆膵悪性腫瘍細胞における糖鎖抗原の発現状況と ABO 式血液型の関連についての研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 消化器外科 (研究責任者) 三塚 裕介
<研究期間> 承認日 ~ 令和 8 (西暦 2026) 年 10 月 31 日
<研究の目的と意義> 日本大学医学部附属板橋病院消化器外科では、肝臓、膵臓癌、胆道癌に代表される肝胆膵領域の疾患の治療を行っております。肝胆膵悪性腫瘍は根治の難しい固形がんであり、治癒につながる個別化治療の開発が臨まれます。2021 年、わが国における新型コロナウイルス感染症の重症化リスクと ABO 血液型との関係が報告され、ABO 式血液型と各種疾患との関係が注目されております。これまでいくつかの癌腫において、遺伝的要因に関与している ABO 式血液型と発癌リスク、長期的な予後に関する研究が行われてきましたが、ABO 式血液型と肝胆膵悪性腫瘍の悪性度、予後に関しては一定の見解を得ていないのが現状です。 本研究では、肝胆膵悪性腫瘍の切除標本を用いて腫瘍部における糖鎖抗原 (A 抗原、B 抗原、H 抗原) の発現状況と実際の ABO 式血液型との乖離状況を明らかにし、予後や各種抗がん剤の感受性との関係を検証することを目的とします。
<利用する試料・情報の項目> カルテ記載内容 (既往歴、家族歴、現病歴、生活歴、身体所見、症状、治療履歴)、投与薬剤、最終受診日、転帰、手術記録、麻酔記録 (手術時間、出血量、輸液量、使用薬剤) 血液検査 (血型、血算、生化学、血糖関連、凝固、腫瘍マーカー、血液ガス、内分泌関連)、尿・便検査、生理学検査 (心電図、肺機能検査、超音波検査)、画像検査 (単純 X 線、CT、MRI、PET、血管造影、核医学検査)、内視鏡検査、病理組織検査、免疫組織検査、細菌学的検査、他科での診察情報、他科での手術情報と、過去に行われた日常診療に基づくもの
<対象となる方> 西暦 2000 年 1 月 1 日～西暦 2021 年 10 月 31 日の期間に日本大学医学部附属板橋病院消化器外科で肝胆膵領域の治療を開始された方
<研究の方法> 日本大学医学部附属板橋病院を受診された肝胆膵領域の疾患の患者さんの診療記録・データを解析する。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 消化器外科 氏名: 三塚 裕介 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2471 (PHS) 8306